

2025 年 9 月 3 日

*本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。

Audi Concept C: 新しいデザインフィロソフィーの具現化

- アウディはエモーショナルな電動 2 シータースポーツカーを発表
- ロードスターの新しいルーフコンセプトは、クーペのエレガンスとオープントップの体験を融合
- 新しいアウディフェイスの中心的要素としてのパーティカルフレーム
- コンセプトカーは、徹底したシンプルさと技術的な精緻さを体現

(ドイツ本国発表資料) 2025 年 9 月 2 日、ミラノ／インゴルシュタット：アウディは、Audi Concept C を発表します。これは電動 2 シータースポーツカーであり、ブランドの新しいデザインフィロソフィーを体現し、未来への道を開きます。どの角度からみても、このコンセプトカーは新しいアウディデザインフィロソフィーの核心である、徹底したシンプルさを示しています。新しいアウディブランドフェイスは、ブランドのレガシーを再解釈したパーティカルフレームと、独自の 4 つのエLEMENT によるライトシグネチャーを特徴としています。ルーフコンセプトは、コンバーチブルのメリットを提供しつつ、ボディスタイルの一体感を保っています。高品質な素材を採用し、すべてのディテールにおいて精緻さを示しています。ミニマリストなデザインは、インテリアが一切の雑念から解放されています。シャイテックによるソリューションと確かな触感を伴う操作性が、直感的でエモーショナルな体験を作り出します。

Audi Concept C は、フォルムの純粹さ、精緻さ、そして堅牢さによって、躍動感のあるミニマリズムを体現します。張り詰めた力強さは、強調された面と抑えられた面が一本のラインで交わることで生みだされています。これらの要素が一体となり、そのアーキテクチャの本質を定義しています。

フロントを形作るパーティカルフレーム

新しいフロントの中心はパーティカルフレームにより形成され、そこから車両全体の構造的ボリュームが展開します。Auto Union Type C (1936 年) や第 3 世代 Audi A6 (2004 年) にインスパイアされ、プレゼンスとアイデンティティを伝える明確で直立したフォルムです。アウディのレガシーを先進的に解釈し、アウディリングスを示し、先進的なテクノロジーを統合します。力強いショルダーラインが、この 2 シータースポーツカーの立体的なフォルムを際立たせています。そのプロポーションは、中央にあるバッテリーのレイアウトによって生まれたものです。キャビンは後方に大きく伸び、ボディにしっかりと据え付けられています。電動リトラクタブル・ハードトップが、アウディのロードスターに初めて採用されます。このリトラクタブル・ハードトップは 2 つのルーフELEMENT で構成されており、車両がモノリシックなシェイプを保持すると同時に、オープントップのドライビングエクスペリエンスを可能にします。リヤでは、クリーンなサーフェスと水平のスラットが、このモデルのスポーティなキャラクターを強調します。

Audi Concept C は、ヘッドライトおよびリヤライトそれぞれに 4 つのエLEMENT を水平方向に配置した、新しいライトシグネチャーを導入します。このデザイン要素は、昼夜を問わずアウディのビジュアルアイデンティティを定義し、道路上での明確で間違いのない存在感を示します。Audi Concept C のエクステリアは、Titanium (チタニウム) カラーです。暖かみと技術的な洗練さを感じさせる、チタンの光沢にインスパイアされた、精緻さ、軽さ、強さを体現する素材です。

洗練された雰囲気の内装

インテリアは、力強い建築的な表面と明確な幾何学的フォルムを特徴として、2 名の乗員にスペースを確保しつつ、さりげなくドライバーを中心に囲みます。アルマイト加工されたアルミニウムから製造された物理的なスイッチ類は、その外観、触感、そして独特の「アウディクリック」を通じて、機械的な品質を感じさせる触覚的な体験を提供します。ステアリングホイールは、洗練された触覚体験の中心となります。その特徴である丸い形状、洗練された触感要素、そして中央に配置された金属製のアウディリングスは、究極の技術的精緻さにより作られています。すべての素材が、インテリアの純粹で洗練された雰囲気を演出しています。カラーパレットもチタンにインスパイアされ、同系色の調和を示します。天然

素材によって、洗練した、暖かみのある、格調高い環境を作り出します。ナチュラルな色調による間接的なアンビエントライティングは、素材をくっきりと際立たせ、インテリアデザインの確かな重厚感を一層引き立てます。

直感的なユーザー体験を提供するシャイテック

テクノロジーは進歩を可能にします。それは常に近くにありながら、決して支配的ではありません。インテリジェントなテクノロジーは、五感すべてに訴えるシームレスな体験を作り出します。ディスプレイと操作コンセプトも、このフィロソフィーに準じています。10.4 インチの折りたたみ式センターディスプレイは、あらゆる状況に応じて関連情報を直感的に提供します。ステアリングホイールおよびセンターコンソールの触感コントロールとともに、ユーザーインタラクションにおける明快さと精緻さを実現するデザインです。操作系は、ユーザーがまさに期待される場所に配置されています。

アウディの未来を切り開く先駆者

今後、アウディは明快さ、技術、知性、そしてエモーションをしっかりと組み合わせることに重点を置きます。Audi Concept C は、新しいデザインフィロソフィーの始まりであり、フォーリングスのブランド、アウディにとって決定的な瞬間となります。それは将来の量産モデルの方向性を示し、以降のモデル設計に関わってくることになります。

Strive for clarity 特設ページ : <https://www.audi.co.jp/ja/stories/design/striveforclarity/>

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社
アウディ ジャパン 広報部

アウディ ジャパン プレスサイト
<http://www.audi-press.jp/>

報道関係者お問い合わせ :
<https://audi-press.jp/contact/>

お客様お問い合わせ :
アウディ コミュニケーション センター
0120 - 598106



アウディ グループは、プレミアムおよびラグジュアリーセグメントにおいて最も成功している自動車・モーターサイクルメーカーの一つです。アウディ、ベントレー、ランボルギーニ、ドゥカティの4ブランドは12カ国・21カ所の生産拠点で製造を行っています。アウディとそのパートナーは世界100以上の市場に展開し、2024年、アウディ グループは約170万台のアウディ、10,643台のベントレー、10,687台のランボルギーニ、54,495台のドゥカティモーターサイクルを販売しました。2024年度の売上高は645億ユーロ、営業利益は39億ユーロを計上し、12月31日時点で88,000人以上の従業員が在籍、そのうち53,000人以上がドイツのAUDI AGに勤務しています。アウディ グループは、魅力的なブランドと多彩な新型モデルを展開しながら、持続可能で完全にネットワーク化された、プレミアムモビリティのプロバイダーへの道を体系的に進んでいます。